

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

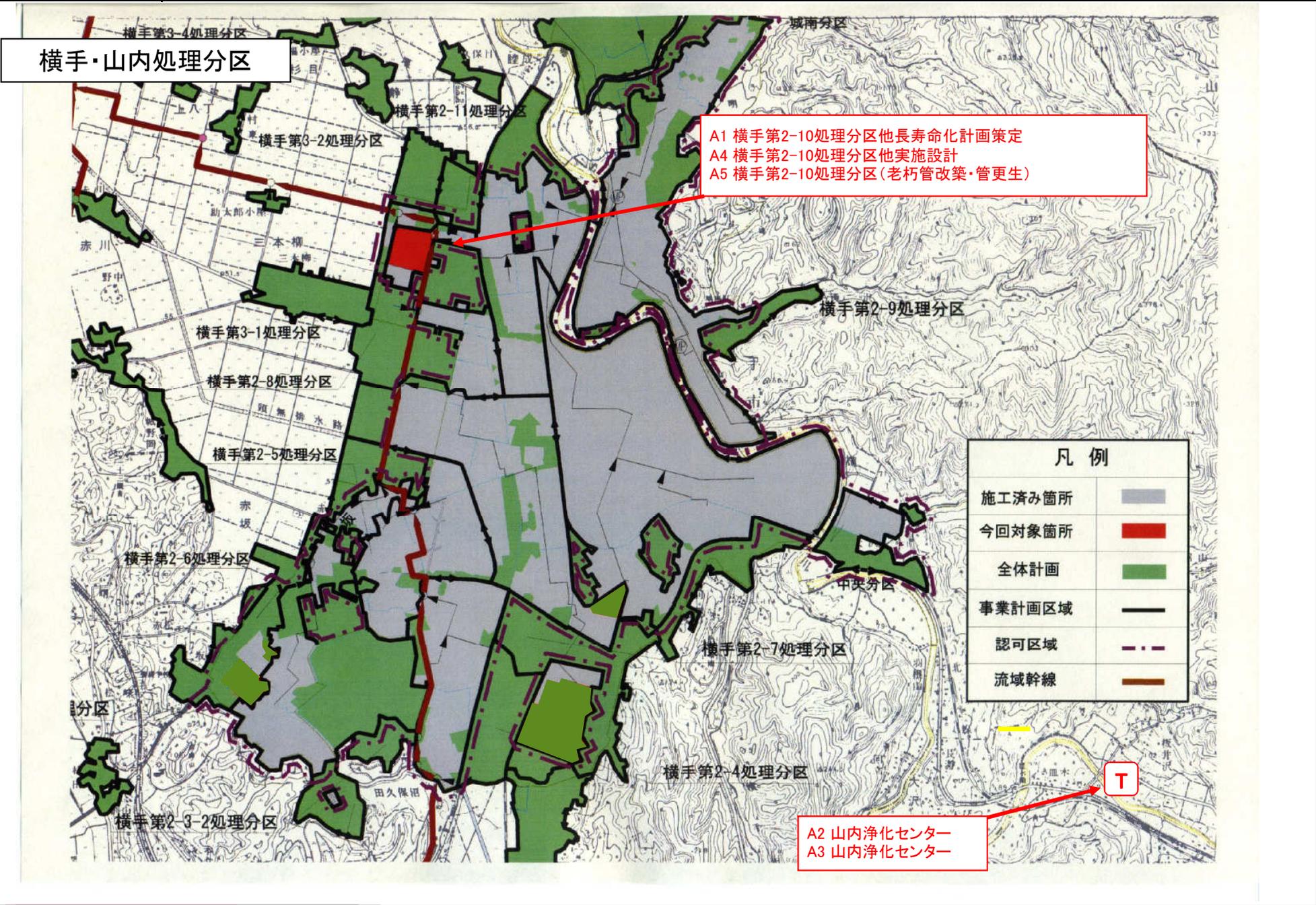
平成25年3月29日

計画の名称	1 長寿命化計画によるライフサイクルコスト削減の実現																
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	横手市（秋田県）										
計画の目標	計画的な長寿命化対策を実施し、事故の未然防止及びライフサイクルコスト削減を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）	①処理場における長寿命化計画策定率を0.0%（H22）から100%にする。 ②老朽管の調査・改築を行い、改築率を0.0%（H22）から40.0%することによりライフサイクルコストの削減を図る。																
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）						
①処理場における長寿命計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）*100									0.0%	100.0%	100.0%						
②老朽管改築率 老朽管改築延長／老朽管延長*100									0.0%	0%	40%						
全体事業費	合計 （A+B+C）	132百万円	A	132百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）		0.0%						
<b>交付対象事業</b>																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
A1	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水	改築	横手第2-10処理分区他長寿命化計画策定	汚水管A=8.9ha	横手市						15	長寿命化
A2	下水道	過疎	横手市	直接	—	処理場	改築	山内浄化センター	長寿命化計画策定	横手市						20	長寿命化
A3	下水道	過疎	横手市	直接	—	処理場	改築	山内浄化センター	汚泥処理設備更新	横手市						50	長寿命化
A4	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水	改築	横手第2-10処理分区他実施設計	管渠実施設計A=8.9ha	横手市						2	長寿命化
A5	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水	改築	横手第2-10処理分区(老朽管改築・管更生)	汚水管φ=250mm A= 8.9ha	横手市						45	長寿命化
											合計					132	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C3																	
										合計							

# 防災・安全

計画の名称	・長寿命化計画によるライフサイクルコスト削減の実現	
計画の期間	平成22年～平成26年度（5年間）	交付対象 横手市(秋田県)



横手・山内処理分区

A1 横手第2-10処理分区他長寿命化計画策定  
 A4 横手第2-10処理分区他実施設計  
 A5 横手第2-10処理分区(老朽管改築・管更生)

施工済み箇所	■
今回対象箇所	■
全体計画	■
事業計画区域	—
認可区域	- - -
流域幹線	—

A2 山内浄化センター  
 A3 山内浄化センター

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(防災・安全社会資本整備交付金)

計画の名称：長寿命化計画によるライフサイクルコスト縮減の実現

事業主体名：横手市

チェック欄

<b>I. 目標の妥当性</b>	
<b>①上位計画等との整合性</b>	
1)計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
<b>II. 計画の効果・効率性</b>	
<b>②目標と事業内容の整合性等</b>	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
<b>③事業の効果</b>	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
<b>III. 計画の実現可能性</b>	
<b>④円滑な事業執行の環境</b>	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
<b>⑤地元の熱意</b>	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○